

## 生涯学習係 『子どもを育てるPTA活動』 ～優良PTA文部科学大臣表彰受賞団体の実践より～

近年、子どもたちを取り巻く環境の変化は、子どもたちの生活にさまざまな影響を与えています。集まっても別々に携帯ゲーム機で遊ぶ子ども、塾等により過密スケジュールをこなしている子どもも見られます。親も子どもも多忙な生活を送り、人とのつながりを深める機会が少なくなっている中で、学校・家庭・地域が協働して教育活動に取り組むことが大切です。昭和村立南小学校PTAでは、子どもたちの健全な成長を図るために、学校・家庭・地域が協力し合うPTA活動が評価され、今年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。

### (1) 活動事例の紹介 昭和村立南小学校PTA

#### 学校・家庭・地域で学社連携を推進する会議の開催

《工夫》全教職員で、地域との連携計画を見直し、推進会議(すこやかネットワーク会議)を開催して、保護者や地域の方に教育活動への支援を依頼している。

《成果》安全マップの作成やあいさつ運動、パトロール等の実施により、「子どもは地域の宝」という意識が高まり、安心で安全な登下校ができています。その他にもミシン指導等の授業支援や読み聞かせにより、教育活動が豊かになっている。

#### 会員の意見を反映したPTA行事の実施

《工夫》学年PTA(親子学習)において、学年委員が中心となってアンケート調査をしたり、意見を聞いたりして内容を決定している。

《成果》子どもの成長段階に合わせて、親子が楽しく体験したり、学習したりすることができている。また、会員からの声を取り入れることで参加者が増え、連帯感を深めて、健全育成に取り組んでいる。



【朝の交通指導の様子】

### (2) 今後に向けて

平成24年度PTA指導者研修会における野島正也先生(文教大学副学長)の講演「今、PTAに求められるもの」から学校・家庭・地域を結ぶPTA活動を展開するための工夫点を紹介します。

- ① 会員の役割をできるだけ小分けにして、みんなで力を合わせてできるようにしていく。
- ② 一つ新しい活動を取り入れるときは、今までの活動を一つ削ってPTA活動の充実を図っていく。
- ③ PTA会員だけでなく、地域の方の協力を得ていく。

PTA活動を少し工夫することで活動が充実し、保護者や地域の方がやりがいを感じたり、つながりが深まりました。このような意識の高まりによって、子どもたちの健全育成が図られると考えます。